

□ アイバルブ・ジャパン ニュースレター 夏のイベント特集 2014年7／8月号 VOL.015

CONTENTS

- グラジオラスのイメージアップに一役 4日間のナイメーヘン「フォーデーズマーチ」
- 「DUTCH LILY DAYS 2014」 視察レポート その2
- リリーエンジェル2015始動！
- 第2回「リリーアベニュー」開催レポート
- 「なにわ花まつり」に出展しました
- 中村農園 ゆりフェスタ／山喜農園農場公開＆フラワートライアル 各レポート
- リリーエンジェル2014 活動報告6月から7月

■ グラジオラスのイメージアップに一役 4日間のナイメーヘン「フォーデーズマーチ」

オランダ、ナイメーヘン市の「フォーデーズマーチ（歩け歩け大会）」は世界一の規模で国内外に有名です。またフィニッシュの際に参加者に手渡される花としてのグラジオラスもまた同じくらい多くの人に知られています。地元のグラジオラス生産者、フラワーショップ、スーパーマーケットをはじめ、花市場にとって一つのピークとなるモノ日として定着しています。グラジオラスの花は パワーと勝利のシンボルです。

オランダ全体の花市場から見れば、チューリップ、バラ、ユリなどと比べて脇役的な位置しか持たないグラジオラスですが、このウォーキング大会ではシンボル的な役割を担う花である。地元の駅構内のフラワーショップの店主曰く、



「ウォーキング大会は私たちにとって非常に重要なピークの需要期です。夜明け前から各地の花市場でグラジオラスを買い入れ、通常のスタッフに加え友人や家族まで動員して準備します。」

グラジオラス全体の3分の2は生産者 テオ・テウニセン氏の栽培によるもので、4日間の会期中

に約30万本のグラジオラス（3万束）が使われています。グラジオラスはもちろんオランダの海岸近くの球根生産地域でも栽培されていますが輸送費を考えると、ナイメーヘン近郊のこの生産者は、地の利を生かして仕事をしていると言えそうです。普通の切り花の長さが約50cmだとするとグラジオラスは1m近くあり普通の陸送トラックでのパケツ輸送にすると、一段しか積めません。また花のボリュームがある割に値段が出ないのでマージンも少ない花なのです。仕入れに10ユーロセントかかるとすると、販売はその上に少ししか乗せられず、0.1セントの時もあるといいます。テウニセン氏のグラジオラスは主に小売店向けで、またオランダ主要スーパー・マーケットであるアルバートハイムの特売日である「ハムスターイーク」に合わせて4日間の大会期間中、店頭を圧倒するような勢いで販売されます。テウニセン氏は、「生産者にとっては グラジオラスのイメージアップに最適ですね。」と語ってくれました。



フローラホランド花市場の夏花マーケットマネージャーの話では、フローラホランド花市場で一年間に扱われるグラジオラスは6300万本。それに対して、バラは37億本だという。チューリップは17億本。200種類以上の扱う同花市場のランキングでグラジオラスは27番目に位置しています。年間を通して取り扱われるとはいえ、やはりピークは夏シーズンにあります。カレンダーの営業週でいうと第28週から第40週の間 （注：2014年は7月6

日～10月4日)に毎週500万本が取引されています。

フローラホランド花市場で取り扱われるグラジオラスの90～95%はオランダで国内生産される花。それに続いて少量ですがイスラエル産があります。オランダ国産のグラジオラスの約75%は、主にフランスやイギリス、イタリア、ドイツへ輸出されます。グラジオラスの占める割合は全体のごく少量であると、前述の市場のマネージャーは繰り返します。4日間のウォーキング大会の影響も限られてはいますが、ローカルのレベルでは非常に重要なセールスイベントには間違いないさそうです。

■ 「DUTCH LILY DAYS 2014」視察レポート その2

5月20日～23日の4日間、オランダ国内16社のユリ育種会社とユリ球根輸出会社で行われた「ダッチ・リリーデイズ2014」で見たユリのあれこれ……。オランダを毎年訪ねる事で育種の傾向が分かってくるのでしょうか、日本でいち早く新品種がテスト栽培されている事を考えると、日本にいながらそれを知る事ができるなんて、なんと贅沢な事でしょう。関係者にただただ感謝です。今思うと、球根が生まれたオランダで咲いたユリと、遠くはなれた日本で咲いたユリでは、その姿も違っていたように思います。第2回めのレポートでは各社の品種から紹介していきます。

・Marklily社

オリエンタルトランペット(OT)グループ 種間交配種で初めてのピンク「ロビナ」は有名ですが、現在品種選別の重要なポイントは、「開花した時の色がつぼみの状態で分かること」だそうです。



Marklily 社

つぼみでもしっかり分かる山吹色
が美しい SOLANGE(橙)



Corallo (橙)を持つマーティンさん



育種の現場を表すような・・・実験室をイメージさせるディスプレイが魅力的なLAユリの切り花展示



LAのカラフルな花色は魅力的です。
Ayago (黄) Red Rock (赤) Pink Mist (ピンク)

・Van Zanten Flowerbulbs BV 社



Van Zanten
Flowerbulbs BV 社

OTの特性として花が一度に咲いてしまうので、日本向けにはコンパクトな葉、花姿を気に留めながら、順番にゆっくり咲く OH を大切にしたいと考えていると話すハンスさん



つぼみが上向きで花柄

が鋭角でも、切り花として水揚げテストをした結果が良くなければ、品種としては消滅する。2万球あるこのナンバー品種は破棄されることになります。育種には時間とお金がかかるようです。



Marklily 社

球根の仲介会社であるCNBに展示してあったROMANTIC QUEEN（ピンク）は陰影をつけるような濃淡のピンクがとてもやさしい印象のユリでした。

Van Zanten Flowerbulbs BV 社

Tucson (ピンク)



花が横向きのユリをアレンジする時に苦労した花屋さんが、上向きのユリを希望される事が多いと思いますが、つぼみが上向きで、花柄が鋭角のものが、生産者サイドでもパッキング作業性が良いという事で、品種選抜の基準となるようです。



Van Zanten Flowerbulbs BV 社

台湾で人気のRipasso（赤）は今までに無い発色の良い赤色です。（図左）

OTで上向きそして、ゆっくりと咲くBeringoは期待の品種です。（図中）

Redstone（赤）は花数が少なく、日本では物足りなさを感じるかもしれません、花持ちの良いチューリップ咲きのLAです。イギリスのスーパーにはそんな理由から好まれているそうです。（図右）

■ 「リリーエンジェル2015」始動！



リリーエンジェル2015が決定しました。カレンダー撮影、昨年はユリ農場で行いましたが、3回目となる2015カレンダーは、ユリが生産者さんから市場に届き、花屋さんへ行くまでの流通の様子をリリーエンジェルと共にご紹介するために6月21日22日両日、某卸売市場で行いました。全国のユリ生産者の家族から選ばれた12名のリリーエンジェルは、緊張した面持ちで撮影に臨みました。リリーエンジェル2015は11月28日(金)に発表です！

■ 第2回「リリーアベニュー」開催レポート

6月16日（月）から6月20日（金）の五日間、ユリの切り花PRと、仲卸会社でのユリ販売を応援するためのイベント「リリーアベニュー」が東京・世田谷市場で開催されました。

仲卸会社、関連資材会社の店頭売り場には2mを超えるユリのオブジェ8台が設置され、「The lily is for all women」をテーマにしたユリのデモンストレーションが行われました（6/16 宮永英之さん、6/18 平井・ペダル・カトリンさん、6/20 岡寛之さん）。これに合わせて3名のリリーエンジェルが産地の生産者の方々と一緒にユリの魅力を伝えました（6/16 新潟県魚沼出身 渡辺美香さん、6/18 北海道石狩郡当別町出身 木屋路望さん、6/20 埼玉県深谷市出身 根岸愛里さん）。また、アンケートにお答えいただいた方々に、「蕾から満開まで美しく咲くユリの様子をじっくりと楽しみ、その魅力を実感して欲しい」と産地の特色あるユリをプレゼントしました。



特別展示スペースでは、「Your Lily」をテーマにした「仲卸杯争奪ユリアレンジメントコンペティション」の作品が展示されました。そして、球根輸入会社（株）中村農園からは新品種のユリ切り花、（株）山喜農園からはテストハウスからボックス栽培のユリが初めて展示され賃参人の大きな感心を集めました。「リリーアベニュー」が開かれた一週間、仲卸通りはユリの香りに包まれ、改めてユリの魅力を知る活気あるイベントになりました。優勝は、プランツパートナー（リアルト、ダブリン、乙女雪白）。2位 フローラルコレクション（ニンフ、クプレット）。3位 ユー企画（ベロニカ）。コンペの結果、作品画像の詳細はこちらを参考ください。<http://www.lily-promotion.jp/program/017.html>



最終日の20日はユリのことをもっと知っていただくために特別講習会「YOUR LILY」を開催いたしました。（株）山喜農園 森山隆社長、オランダ ファンザンテンフラワーバルブ社のハンス・ダーメン氏を迎えて、世界中のそれぞれの国のためのユリの育種についてお話ししていただきました。

■ 「なにわ花まつり」に出展しました

7月4日（金）大阪・なにわ花いちばで開催された「なにわ花まつり」に、リリーエンジェル（埼玉県深谷市出身 根岸愛里さん）とリリープロモーションジャパンが参加しました。JA ふかや共



撰ユリ部会、エフブラザーズ、新潟県JA切花協議会のブースでは開花したユリを展示し、生産者自ら来場者アンケートを取り、使い手のニーズを集めました。リリープロモーションブースでは、人気の八重の品種展示や、効果的なユリの使い方をミニデモでご紹介いたしました。来場された賃参人、お花屋さん、デザイナーの方々からは、固定したユリのイメージを変える提案展示と好評をいただきました。

詳細はこちら <http://www.lily-promotion.jp/program/019.html>



■ 中村農園 ゆりフェスタ／山喜農園農場公開＆フラワートライアル 各レポート

高知県(株)中村農園、新潟県(株)山喜農園で栽培試験場が公開されました。また、2社からのユリは第2回リリーアベニューの特設展示場でも公開させていただきました。

山喜農園森山隆社長、中村農園中村光輝様からイベントについてのレポートをいただきました。

● 「育てた花のそれからを考えたい」 中村農園「ゆりフェスタ」レポート



2014年6月4日～8日の5日間、国内最大級のゆりの栽培展示会「第8回ゆりフェスタ in 中村農園」を開催いたしました。今年は初公開の120品種を含む469品種・約1万本のゆりを展示栽培し、過去最多となる切り花生産者・流通関係者の皆様方を始め、1629名のお客様にご来場、ご交流を頂きました。当フェスタは（切り花展示ではなく）ハウスで栽培中のゆりを同時一斉開花した状態で見て頂くという世界でも稀なイベントで、日本全国のみならず、オランダや台湾など海外からもお客様がお見えになりました。

今年のフェスタは「育てた花のそれからを考えたい」をテーマに、業界を代表する(株)大田花き藤田章治様、(株)パーク・コーポレーション伯野智司様によるご講演やフラワーデザイナーかねとういさお様によるフラワーアレンジのワークショップもご披露頂きました。講師の方々からは生販が連携してマーケットの変化に対応していくこと、新しい需要の開拓、価値ある花の代表であるゆりの魅力の伝え方の工夫など、貴重なご提言をいただき活発な意見交換が行われました。

また、期間中、8名のリリーエンジェルのお嬢様方が来て下さり、それぞれの産地のPRやご来場のお客様と親しく交流するなどイベントを華やかに盛り上げてくれました。

おかげさまで弊社は来年創業60周年、会社設立25周年の節目の年を迎えます。“感謝！”、“奉仕！”、“発展！”の気持ちを込めて、更に充実した「第9回ゆりフェスタ」(2015年6月10日～14日開催)を目指します。来年もまた、来年こそ、皆様にお会いできることを今から楽しみにしております。



● 山喜農園 農場公開と第2回リリーアベニューへの参加についてのレポート

6月に開催されました、第2回リリーアベニューに参加させていただき、大変ありがとうございました。ibulb様からの参加協力依頼を頂き、「新しい、魅力的な品種を出展いただきたい」とのこと。昨年に引き続き、開催期間中に合わせて「講演もしていただきたい」とのことでした。もう一人の講師、ロイヤルバンザンテン社ハンス・ダーマン氏のテーマが、「百合の育種」についてでしたので、ハンス氏の講演内容に合わせた品種を選んだつもりです。初めての試みだったのですが、「1996年」より当社が行っております、「百合品種比較試験栽培全988ロット」の中から8品種ほど、「世田谷出張所」を設置いただき、試験栽培の風景をそのまま再現していただきました。この準備の際には、ibulb様及び世田谷花市場の担当者様、仲卸協会の皆様には「試験品」を大切に扱っていただきました。誠にありがとうございました。栽培している「試験箱」を魚沼 ⇄ 世田谷間 輸送することは「大丈夫か？」と心配しておりましたが、関わる方々のおかげで何とかうまく運べたようです。

昨年に引き続き、講師の大役を固辞することなく引き受けさせていただいたのは、「オランダの百合育種と深谷のL.Aとのつながり」と言う講演テーマだったからです。去る2月14日、フラワーバレンタインデーのその日に起きた関東甲信地区における大雪被害を踏まえ、この事についてお話ししていただけるチャンスを頂き、大変感謝しております。質疑時間が大幅に伸びて、1時間10分も予定時間をオーバーしてしまいました。「世田谷サンドバック事件」と勝手に名

前を付けさせていただき、「百合の話をしはじめたら終わらない。」「百合はいいよね～。」講演会のはずが、大激論会となりました。今後の百合品種開発・球根生産・切花生産・物流・消費宣伝、多くのヒントを頂きました。

6月上旬～7月上旬の約1ヶ月間「オープンデー」という形で試験栽培を行っていた期間中、様々な立場の関係の皆様にご来場いただきました。「過去から現在、そして未来へ」「世界の中の日本」を意識して開発を進めておりますが、「聞こえなかったことが聞こえてきた」そんな思いすらしています。（より大勢の皆様に見に来てほしい。お話を聞かせてほしい！）既に多くの百合切花農家に、当日のリリーアベニューの状況も合わせて、伝えさせていただいております。直後に開催された当社が所属しております、「日本花き球根輸出入協会JFTA®」年次総会においても、皆様から頂いた様々な助言・アドバイスを繋がせていただいております。ibulb様の今後の活動にも大きな影響・ヒントがあったのでは、と考えております。面白かったです。大変ありがとうございました。



■ リリーエンジェル 2014 活動報告 6月から7月

● 「第2回アオーレ長岡ユリまつり」（7月11、12日）に参加しました

アオーレ長岡ユリまつり、台風の影響が心配されましたが、11日、720人、12日1400人計2120人とたくさんの皆様にご来場いただきました。リリーエンジェルの近藤香澄さん（新潟市）はオープニングセレモニーでの花束贈呈、幼稚園児への花束贈呈のサポートなどユリのPRと一緒にさせて頂きました。



● なにわ花いちばで北海道のユリをPR（7月7日）

北海道当別町出身、木屋路望さんが、JA北いしかり、当別花卉生産組合の皆さんと共にわ花いちばでの当別の花PRに参加し、大阪の皆さんにユリをアピールしました。



● なにわ花まつりに参加しました（7月4日）

リリーエンジェル根岸愛里さん（埼玉県深谷市）とリリープロモーションジャパンが参加しました。（先述）

<http://www.lily-promotion.jp/program/019.html>



● 「第2回リリーアベニュー」（世田谷市場6月16日～20日）に参加しました

渡辺美香さん（新潟県魚沼市）、木屋路望さん（北海道当別町）、根岸愛里さん（埼玉県深谷市）が産地の生産者の方々と一緒にユリの魅力を伝えました。（先述）

<http://www.lily-promotion.jp/program/017.html>

● 埼玉県庁朝市（6月15日）に参加しました

根岸愛里さん（埼玉県深谷市）は、6月15日に「雪害に負けない復興支援」をテーマに実施された県主催の朝市に「JAふかや花卉青年部」のメンバーと一緒にユリを販売しました。

● 中村農園「第8回ゆりフェスタ」（6月4日～8日）に参加しました

4日間の期間中に8名のリリーエンジェルが参加しました。（先述）

* 「リリーエンジェル」のFacebookページ <https://www.facebook.com/lily.angel.jp>

* リリーエンジェル・プロジェクト 詳しい情報はウェブで <http://www.lily-promotion.jp/program/>

* リリーエンジェルとユリのPRを希望される皆様は、ぜひ、お問い合わせください！

■ アイバルブ・ジャパン・ニュースレター2014年7／8月号（第015号） 発行：アイバルブ・ジャパン

■ HP：www.ibulbjapan.jp メールアドレス：ibulb@aurorajp.com